

ロチェスター工科大学に来て3か月が経ちました。今月の初めには雪が降りだんだん寒くなってきました。今回の報告書では、ELC、今月のイベント、Home stay について記述します。

ELC

11月5日から9日までは、今学期受講した科目の期末テストが行われ、無事にすべての科目の単位を修得することができました。12日にはMichigan Test, Speaking のテストが行われました。また、Writing のテストは最後の Writing 授業の時間(9日)に行われました。

Michigan Test は米国のミシガン大学で開発された英語能力を判定するためのテストで、ここではクラス分けに使われているようです。問題は Grammar 40問、Vocabulary 40問、Reading 20問の計100問で構成されています。すべて選択問題で、制限時間は75分です。

Grammar は試験の前日や前々日にかなりの数の問題を解いたため、そんなに難しいとは感じなかったのですが、やはり前回の Michigan Test 同様 Vocabulary の問題には苦戦しました。Reading は半分解くことができましたが、残り半分は時間が足りず解けませんでした。

Speaking のテストは絵を見せられ、その絵について試験官の質問に応えたり、質問させたりする問題です。絵は過去、現在、未来から構成されています。前回の試験では、文法的に間違えていることや簡単に答えしかしていなかったことを指摘されていたので、今回の試験ではゆっくりでもいいから文法的に間違えないように心がけて問題に答えていきました。

Writing のテストは3つのテーマの中から1つを選んでそれについて記述するというものです。私は Favorite music というテーマを選びました。辞書を使えないので、書ける内容は当然薄くなります。スペルミスや文法に注意したので量は少なめになってしまいました。

後日、テスト結果の報告と科目の履修申請が行われました。テストの結果ですが、いずれのテストも「アメリカの大学で授業を履修する成績」に達するものではありませんでした。すべてのテストで成績自体は上がっていたので、ELC の先生からは褒めていただきました。これを励みにさらなる英語力の向上に努めていきたいと思います。来学期は Reading, Writing, Conversation, Grammar, Vocabulary に加え選択科目の Listening Comprehension, Communication Projects の7科目を受講することになりました。

今月のイベント

今月は ELC で3つと I-House で1つイベントが行われました。その詳細について記述します。

Macbeth

学内にあるパナラシアターというところでシェイクスピアのマクベスという演劇を鑑賞しました。国立聾工科大学(NTID)の学生が演技をしていたので、役者は手話をしながら演技をし、他の誰かが声を出すという形のなかなか珍しい演劇でした。ただ、話の内容がまったくといっていいほど分かりませんでした。ちなみに NTID は、National Technical Institute for the Deaf の略で RIT 学内にある聴覚障害者を対象にした技術系大学です。

George Eastman House Museum of Photography

コダックの創業者のジョージ・イーストマンの家に行きました。さぞかしカメラがたくさん置いてあるだろうと思っていったらそうでもありませんでした。むしろ展示のメインは家です。家という失礼なので豪邸です。他に昔のハリウッドスターの写真とプロレス関係の写真が展示してありま

した。プロレス関連の写真の展示スペースがカメラの展示スペースより広がったことには驚きました。プロレス好きの私は、ジョージイーストマンに親近感を抱きました。

Celebration Dinner

Garman House というレストランで食事会と修了式が行われました。

I-House breakfast

I-House breakfast はみんなで朝食を食べようというイベントでした。日曜日は遅くに朝食をとるアメリカらしく、開始は12時でした。

Home stay

私は11月15日から12月3日まで休みとなりました。その間、今年の夏にKITに来ていたDouglas Sumner君の家にホームステイをさせてもらっていました。彼の家はニューヨーク州のミドルタウンというところにあります。周りは緑に囲まれていて、ロチェスターより田舎です。そこで1週間ほどお世話になりました。

22日はThanksgiving dayでした。Thanksgiving dayは日本語に直すと感謝祭といい、神の恵みに感謝してご馳走を食べる日です。また、Thanksgiving dayによく食べたべられるのが七面鳥(ターキー)の丸焼きであることからターキーdayとも呼ばれます。私はダグラス君の父親の実家で彼の親戚たちと一緒にご馳走をいただきました。メニューは七面鳥の丸焼き、マッシュポテト、マッシュアップキン、蒸しサツマイモ、カキ、おからのようなもの、マシュマロのヨーグルト和え、パンプキンパイ、アップルパイでした。七面鳥の丸焼きが美味しいのはいうまでもありませんが、まさかカキが食べられるなんて思っても見ませんでした。一番おいしかったのはマシュマロのヨーグルト和えでした。不思議な感じでしたがすごく落ち着く味でした。驚いたのは、午後3時という早い時間に食事を取ったことでした。

その後は、彼の母親の姉の家に行きました。アメリカ人にとってのThanksgiving dayは、日本人にとってのお盆や正月のようなものだと感じました。

Thanksgiving day、翌日のAfter Thanksgiving Day、土日をあわせた4連休になります。このAfter Thanksgiving Dayはアメリカで最も忙しいショッピングの日で、多くの人々が朝早くからお店に並ぶそうです。日本で福袋を求めて朝早くから並ぶようなものです。私が驚いたのは、開店時間の早さで、近くのモールの店は午前5時に開店するそうです。そんなことに驚いていたら、テレビのCMで見たある店は午前4時から開店するみたいです。そんなに早く開けて人は来るのかでしょうか。

翌日はニューヨークシティに連れて行ってもらいました。さすがに人が多かったです。しかし、東京ほどではありませんでした。エンパイアステートビル、ロックフェラーセンター、タイムズスクエア、グルックリンブリッジ、自由の女神像など有名処を見て回りました。

アメリカの大学で授業を履修できなくなってしまったことと、Douglas Sumner君の家族と思うようにコミュニケーションを取れなかったことで、まだまだ頑張らなければいけないということを再認識しました。あと半分の留学生生活を自分にとって納得のいくものにするために努力していきたいと思います。